



## 内選手を迎え、過去最高のエントリー

—第33回北方領土ノサップ岬マラソン 8/17—



招待選手に埼玉県庁の公務員ランナー川内優輝選手を迎えた33回目となる今年のノサップ岬マラソンは、過去最高の781人のエントリーとなりました。

この日は、天候にも恵まれ、午前10時の気温が17.3℃というコンディションでのスタートとなり、ハーフ、10km、3.7kmの参加者は涼風を受けながら、市役所前のゴールを目指し懸命に走り抜きました。

表彰式では、優勝から6位まで各部ごとに表彰を行った後、毎年恒例の記念撮影。今年は、川内選手のはからいで記念撮影に飛び入り参加する一幕もあり、会場は多いに盛り上がりました。



## 生から一杯学んだ3日間

—夏休み学習サポート教室 8/13~15—

教育委員会が総合文化会館で夏休み学習サポート教室を開き、小学生14人、中学生14人が学びました。

夏休み学習サポート教室には、道教育大釧路校の学生講師6人、市の学力向上等補助教員6人、退職教員2人が参加。児童・生徒たちは、自学自習を基本に分からないところは講師に聞き理解を深め、自ら学ぶ意識と学力の向上を図りました。



## 点の地から 思いよ届け

—北方領土返還要求根室市民大会 8/3—

北方領土返還要求根室市民大会が総合文化会館で行なわれ、根室市民ら約700人が参加しました。

不法占拠から69年が経過し、元島民の平均年齢も80歳に達しようとしている中、元島民や後継者などが一堂に会し、アピール行進や式典において早期返還を訴えました。



## しく学べた防災・減災対策

—こどもぼうさいカフェ 8/2—

親子で「防災」を学んでもらうこと目的に、市と釧路地方気象台が図書館で、「こどもぼうさいカフェ」を初開催しました。

会場では、44人の親子連れがジュースなどを飲みながら、津波の災害映像を視聴したり、炊飯袋を使った炊き出しや新聞紙スリッパ作成などが行い、防災・減災を身近に感じるキッカケとなりました。



## 室管内中学生7人が総理に訴える

—北方少年交流事業 7/24—

独立行政法人北方領土問題対策協会の北方少年交流事業で、根室管内の元島民の3世、4世の中学生7人が総理官邸において、安倍内閣総理大臣を表敬訪問しました。歯舞中学校3年の中島恭輔君は、「僕たち若い世代が関心を持つことが大切」と話すなど、7人が北方領土への思いを伝えました。

